



林野庁北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

発行日 2008/07/01

インフォメーション

当ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援や森林環境教育等の提供、技術指導などを行っています。

森林環境教育の取組 「海辺の小学校で 森林教室」

六月十日(火)、釧路町立知方学ちほまな小
学校で森林教室を行いました。
初めに全員で、森林の大きな二枚の絵
を比較して違いを見付けながら森林の
働きを考えました。

その後、低学年は紙芝居を見ながら
「森林の働き」や「森に住む動物」に
ついて勉強しました。さらに野外に出
て樹木観察を行い、樹木の葉をスケッ
チして葉の特徴を覚えしました。

高学年は、野外で植物や樹木の観察を



(はい。こっちは絵は動物がたくさんいます！)

行い、食べる事が出来る植物や樹木
の特徴を学びました。また、樹木の
太さや高さを測って炭素貯蔵量を求
め、地球温暖化に果たす森林の役割
を学びました。

この小学校は太平洋に近い丘の上に
位置し、一年を通して風が強く、特
に春から夏にかけては海霧におおわ
れ低温状態が続く自然の厳しい地域
であることから、生徒達は森林が持
つ防風・防霧の働きや山崩れを防ぐ
働きを身近なものとして感じてくれ
たことと思います。

「くしろエコ・フェア2008」
で森林教室と木工教室
釧路市では六月の環境月間にあわせ



(森林は地球温暖化防止に役立っていると
言われているのでしょうか?)

て様々な催し物が開催されました。
六月七・八日に環境問題に取り組む
市民団体が組織したエコ・フェア実
行委員会主催の「くしろエコ・フェア
2008」に参加し、森林と環境
との関わりについて考えてもらっ
二森林教室「森からのクイズ」を開
きました。地球温暖化に関する質問
は正解率が高くなっていました。ク
イズの後、カンナくずを利用した
「鉛筆立て」などの木工教室を実施
し、たくさんの子供達や親子連れの
参加があり、市民の方々に森林の重
要性などをアピールできました。



(「ちょっと難しそうね?」「がんばろうよ!」)

自然再生事業の取組

試行実験区のプロット調査を実施

標茶町雷別地区国宥林の自然再生事業を本格的に開始する前に、事業区域での試行実験を行い、その結果を事業に反映させていくこととしています。人工植栽区と天然更新区にそれぞれ調査プロットを設定し、地がき後の笹や草本の回復状況、木本稚樹の発生・成長、植栽木・天然木の成長等を調査し、シカによる影響などの程度あるか等を検証します。

十八年度に実験区を設定し、地がき方法による笹の回復や樹種によるシカ食害程度などに違いが見られることが分かってきています。今後とも継続して調査に取り組みとともに、調査に市民が参加してもらえらる仕組みも検討していきたいと考えています。



プロットの様子

このプロットは笹の根を完全に取り除いたところで、笹の回復は僅かです。

雷別自然再生学習会を開催

六月二十一日(土)雷別地区自然再生事業への理解と市民参加を呼びかけるために「雷別自然再生学習会」を開催しました。十一名と参加者は少なかつたのですが、小学生二人連れのご家族や標茶の高校生が四名も参加してくれました。

ハルニレのタネ採取と播種を終えた頃から雨がぱらつき始め、植樹の途中で大粒の雨となつてしまいました。参加者の皆さんは雨合羽を着て最後まで植樹に取り組んでもらえま



(ハルニレのタネってかわいい形だね！)

「森林ふれあい講座」を開催！！

7月28日(月)
8:15 釧路発
(中茶安別小中学校経由)
16:00 釧路着
上記時間でバスを運行します。
小・中学校の先生方を対象としています。
(先生方の親子での参加も歓迎です。)
申し込みは7月15日まで、また、詳細はふれあいセンターにお問い合わせください。

した。昼食後も雨は止まず、午後から予定していた森林浴をしながらの樹名板取り付け作業は中止となりましたが、バスの中から事業地近くの森林を見学しながら、森林と樹木の話をして学習会を終了しました。



(小学生も高校生も雨の中最後まで植樹をがんばってくれました。感謝！感謝！です。)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/

E-mail h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp